

## 上関地点 2025年度 上半期の環境監視調査結果について

水質調査の結果は、管理目標値を満足していた。

陸生、海生生物については、過去の調査結果と比較して顕著な変化は見られなかった。

項 目		調査時期	調 査 結 果 概 要											
水 質	陸域工事 排水の水質	4月10日 5月 8日 6月 5日 7月15日 8月14日 9月 8日	水素イオン濃度、浮遊物質とともに管理目標値内であった。 <table><tr><th>項 目</th><th>調査結果</th><th>管理目標値</th></tr><tr><td>水素イオン濃度</td><td>6.9～7.4</td><td>5.0以上9.0以下</td></tr><tr><td>浮遊物質 (日平均値)</td><td>6mg/L 以下</td><td>150mg/L 以下</td></tr></table>			項 目	調査結果	管理目標値	水素イオン濃度	6.9～7.4	5.0以上9.0以下	浮遊物質 (日平均値)	6mg/L 以下	150mg/L 以下
		項 目	調査結果	管理目標値										
水素イオン濃度	6.9～7.4	5.0以上9.0以下												
浮遊物質 (日平均値)	6mg/L 以下	150mg/L 以下												
陸 生 生 物	ハヤブサ	4月 8日 4月22日 5月 8日 5月20日 6月10日 6月27日	鼻繰島において、4・5・6月に親鳥（雄・雌）を確認したが、ヒナや幼鳥は確認されなかった。		写 真 1									
	植 生	7月22、23日	イヨカズラを6箇所18株、ジュウニヒトエを34箇所197株、クロムヨウランを1箇所2株、キンランを1箇所1株、ビヤクシンを1箇所1株確認した。		写 真 2									
海 生 生 物	潮間帯生物	4月16、17日	植物ではハバノリ、イワノカワ科など58種、動物ではアマガイ、イワフジツボなど47種を確認した。		写 真 3									
	海藻草類		ワカメ、サビ亜科など56種を確認した。											
	底生生物		アカウニなど6種を確認した。											
	スナメリ	4月～9月 (週1回・計24日)	確認回数は計84回、延べ355頭を確認した。		写 真 4									
	カクメイ科 等の貝類	5月12～14日 8月4～6日	カクメイ科の貝類は確認されなかった。 タイドプール※ <sup>1</sup> 2箇所のうち1箇所は、岩盤の崩落があり、引き続き崩落の恐れがあるため、1箇所調査を実施した。											

※1 タイドプール：干潮時に海辺の岩場にできる潮だまり

## 【参考】

### 《環境監視調査計画以外の環境調査》

- カンムリウミスズメ  
上期の調査において確認はなかった。
- カラスバト(写真5)  
鼻繰島において、4・7・8月に鳴き声、5・6月に姿、9月に姿と鳴き声を確認した。  
計画地点においては、確認されなかった。
- クロサギ(写真6)  
鼻繰島において、4・5・9月に周辺の岩場等で1羽が確認されたが、既知営巣地の利用は確認されなかった。
- ミサゴ(写真7)  
鼻繰島において、6月に巣立ち後の幼鳥1羽を確認した。  
天田島においては、5月にヒナ1羽を確認したが、その後の調査では親鳥・ヒナともに確認されなかった。

## 【調査写真】

### 写真1:ハヤブサ



親鳥(雌)(4月8日)



親鳥(雄)(5月20日)

### 写真2:植生



イヨカズラ(7月22日)



ジュウニヒトエ(7月22日)



クロムヨウラン(7月22日)



キンラン(7月22日)



ビャクシン(7月22日)

写真3:潮間帯生物、海藻草類、底生生物



ハバノリ(4月16日)



アマガイ(4月16日)



ワカメ(4月16日)



アカウニ(4月17日)

写真4:スナメリ



(4月16日)

写真5:カラスバト



(9月3日)

写真6:クロサギ



(5月14日)

写真7:ミサゴ



(6月27日 鼻繰島)



(5月20日 天田島)